学校番号	414

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	世界史Ａ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	ダイアローグ世界史図表　新版３訂　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在の各国が抱える課題を、政治・経済・社会・文化などの様々な観点から多角的に考察する。また、紛争等に関して、地域性の違いを地理的要素から知り「なぜ？」を解消していく。特に、世界が一体化し、各国の交流が強まる単元からは、しっかりと時間をかけて学び現在の課題について考えたい。流れを掴むため、教科書を読み予習をしておく。授業では分らないことを理解し合い、復習を行なう。

２　学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史や世界の地理と関連付けながら理解すること。
現代の人類が直面している課題を政治、経済、社会、文化、生活など様々な視点から考察すること。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：思考・判断・表現	ｃ：資料活用の技能	ｄ：知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業監察	定期考査 レポート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	ユーラシア諸文明の特質	・西アジア世界・イスラーム世界 ・ヨーロッパ世界 ・南アジア・東南アジア世界 ・東アジア世界・内陸アジア世界	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○	a 各地域の特色について関心をもち、周辺地域との関連や日本の歴史を意欲的に学習するとともに、各地域の歴史や文化を意欲的に学習している。 b 東アジア世界については、中国を軸に、日本や周辺諸国と中国との関わりに留意しつつ、各地域の文化や歴史の多様性、また両者のつながりについて多面的に考察し、文章にまとめることができている。 c 東アジア世界の特質や国際関係に関する資料、各地域の宗教・言語・交流などの資料を収集し、適切に活用している。 d 中国を軸とした東アジア世界の政治的特色、文化の共通性、その中における日本の歴史についての知識を身につけると共に、各地域の歴史や、宗教などの文化の多面性や特色を理解している。	授業監察 ﾚﾎﾟｰﾄ ワークシート 定期考査

	ユーラシアの交流	・モンゴル帝国の形成と解体 ・東アジア・東南アジア諸地域の変動と再編 ・近世の日本と世界 ・イスラーム世界の再編成	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○	a モンゴル帝国拡大や明の対外政策、ムスリム商人の活躍などを軸に、世界の交流・日本が果たした役割について意欲的に学習しようとしている。 b 13 世紀のユーラシア世界ネットワークにおけるモンゴル帝国成立の意義について、東アジア・東南アジア世界の結びつきと交流、日本銀の産出や海外流出から世界の一体化に影響を与えたことを判断し、多面的に考察し文章にまとめることができている。 c モンゴル帝国形成を背景に展開された東西交流、イスラーム諸王朝の空間的展開や政治・文化の接触・交流について、日本を絡めながら地図や資料を収集し活用している。 d モンゴル帝国・明・イスラーム世界の展開で形成された東西交流の状況、中国諸王朝の繁栄と、世界の一体化に日本が果たした役割について理解している。	授業監察 ﾚﾎﾟｰﾄ ワークシート 定期考査
	一体化に向かう世界	・大航海と世界の一体化の始まり ・16 世紀の西ヨーロッパ ・17～18 世紀の西ヨーロッパ ・16～18 世紀の東ヨーロッパ ・西欧を中心とする世界の一体化	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a 大航海時代の展開と世界の結びつきや交流に関心を高め、16 世紀～18 世紀までに西欧で起きた革命を中心に、それらの諸国の革命があたえた影響について関心を高め、意欲的に学習している。 b 中世から近世に移り変わっていく世界について、それらに関する社会・経済・文化などの変化ついて各国を比較しながら、その意義を判断し文章にまとめることができている。 c 大航海時代の展開や、ルネサンスの文学・絵画・彫刻などの文化的遺物、啓蒙思想に関する資料を適切に活用している。 d 大航海時代の展開と世界の結びつきや交流に関心を高め、16 世紀～18 世紀までに西欧で起きた革命を中心に、それらの諸国の革命の意義、東西ヨーロッパ諸国の歴史展開の特徴について、具体的に理解している。	授業監察 ﾚﾎﾟｰﾄ ワークシート 定期考査
2学期	19世紀の世界の一体化と日本	・イギリス産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・反動と改革 ・ナショナリズムの時代 ・南北アメリカの道	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a 18 世紀以降、西ヨーロッパ諸国とアメリカ合衆国で起こった革命、それらをきっかけに産業社会、国民国家の形成が進行したことに対して、関心を高め意欲的に学習している。 b アメリカ独立革命・フランス革命・ラテンアメリカ諸国の独立について関心を高め、それらの背景と影響について多角的に考察し、その結果を適切に文章にまとめることができている。 c アメリカ独立革命・フランス革命・ラテンアメリカ諸国の独立が果たした歴史的意義について考察し、関連する資料を活用している。 d アメリカ独立革命・フランス革命・テンアメリカ諸国の独立が相互に関連をもちながらおこったことを理解している。	授業監察 ﾚﾎﾟｰﾄ ワークシート 定期考査
	アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動		○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○	a ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容について意欲的に学習している。 b ヨーロッパの植民地支配に対する抵抗運動の高まりや近代化の動きについての資料を活用し、ヨーロッパの侵略にさらされたアジア・アフリカの変貌と諸民族の民族的覚醒について考察し、その結果を適切に表現している。 c ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、その中での日本の対応に関する資料を活用し、アジア諸国の内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌について考察し、その結果を適切に表現している。 d ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、日本の明治維新とその後の近代化の動きがアジア諸国に与えた影響について考察し、その知識を身に付けている。	授業監察 ﾚﾎﾟｰﾄ ワークシート 定期考査

	帝国主義とアジアの民族運動	・欧米による世界の植民地化 ・民族運動と列強の対立 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制と欧米諸国	 ○ ○ 	○ ○ 	 ○ ○	○ ○	a 帝国主義列強の世界政策によって世界がどのように変容したか、第一次世界大戦の原因について、これまでに学習したことと関連付けて、意欲的に追究している。 b 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての社会の急激な変化についての資料を活用し、現代の社会と関連付けながら考察し、その結果を適切に表現している。 c 帝国主義列強の植民地支配、民族・国境など現在まで残る問題と関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。 d ロシア革命とソ連の成立、国際連盟やヴェルサイユ・ワシントン体制の理念と現実、について理解し、国際社会の枠組みの変化について把握している。	授業監察 ﾚﾎﾟｰﾄ ワークシート 定期考査
3学期	二つの世界大戦	・民族主義の新展開 ・世界恐慌とファシズム ・第二次世界大戦	○ ○ ○	○ 	 ○ 	 ○	a 世界恐慌からファシズムの台頭、第二次世界大戦に至るまでの過程を互いに関連付けながら、意欲的に追究している。 b アジア諸地域の民族運動がなぜ高揚したか、また第二次世界大戦の展開と意義を考察し、文章にまとめることができている。 c 世界恐慌の原因と影響、各国の恐慌対策、ファシズム台頭の背景と経過についての資料を活用し、第二次世界大戦の原因を考察し、その結果を適切に表現している。 d 第二次世界大戦の性格と、その過程で生じた米ソ冷戦の芽や原爆使用の意味について理解し、その知識を身に付けている。	授業監察 ﾚﾎﾟｰﾄ ワークシート 定期考査
	第2次世界大戦後	・冷戦の形成と第三世界の登場 ・核戦争の危機 ・多極化と緊張緩和 ・冷戦の変質 ・冷戦の終焉 ・冷戦下の日本	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○	a 米ソ両軍の冷戦構造の形成や、その変容に関心を高め、20 世紀後半の世界の動きと、日本について関心を高め意欲的に学習している。 b 米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立に対する関心を高め、1970 年頃までの世界の政治・経済の動向について考察し、その結果を適切に表現している。 c 米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立についての資料を活用し、1970 年頃までの世界の政治・経済の動向について理解する。 d アジア・アフリカの民族独立運動、第三世界の台頭とその国際的役割、アジア・アフリカ諸国が抱える諸問題について理解し、その知識を身に付ける。	授業監察 ﾚﾎﾟｰﾄ ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。